

平成30年度 学校経営計画

1 学校教育目標

- ア 知性を高め、豊かな創造力を養う
- イ 健康で自律の精神に満ちた人間性を培う
- ウ 誠実で実践力のある人間形成をめざす

2 学校の特徴

ア 生徒数90名程度の小規模校

本校は、昭和25年に福野高等学校平分校として設立され、平成32年に創立70周年を迎える。各学年1学級、学校全体で90名程度の小規模校であり、「少人数で授業を実施できる」「一人一人に目がゆきとどく」など小規模校ならではの利点がある。

イ 一人一人が大きな役割

学校行事や生徒会活動では、生徒一人一人がそれぞれの役割を担いながら、全員が一致協力して仕事にあたるという体験を通して、大きな達成感・達成感を味わっている。

ウ 特色ある教育活動

本校は豊かな自然に囲まれ、世界文化遺産地区に隣接している。五箇山地域は多くの文化・郷土芸能が伝承されており、ふるさと教育を推進していくための環境が整っている。毎年5月には、小中高合同運動会を開催しており、小中高合同競技や地域の方々や保護者も参加する合同演技（こきりこ唄）があり、地域の大きな行事となっている。また、台湾の新北市にある中華高級中学と学術教育交流を行い、ふるさと教育の国際比較や成果の発信等よい機会になっている。

部活動では、郷土芸能部が、全国高等学校総合文化祭で最優秀賞・文部科学大臣賞を2度受賞するなど、入賞回数全国一を誇っている。スキー部も全国大会出場の常連であり、数々の入賞を果たしている。平成27年度には全国大会の個人種目3冠を達成するとともに、2017ノルディックスキー世界ジュニア選手権大会には日本代表で参加した。郷土芸能部とスキー部を合わせると、全校生徒の約75%が全国の舞台で活躍している。

これらの活動の成果は、参加した生徒に大きな達成感と自信を与えるとともに、学校を大いに活性化している。

3 学校の現状と課題

生徒間の学力差が非常に大きいため、わかる授業や能力差に応じた授業の工夫が必要である。そのためには少人数の良いところを生かし、アクティブラーニングやICT機器の活用など新しい取り組みが大切である。

また、本校は上記のように小規模校の利点がある一方で、生徒同士が互いに切磋琢磨する場面が少なく、現状に安住しようとする傾向が見られる。そのため学校行事や部活動等で主体的に活動する機会を増やすことによって、生徒の自主性、創造性を育てていきたい。

近年は、地元の人口減少とともに、本校全体に占める地元生徒の割合も減少しており、集団の意識に変化がみられる。地域に愛され、生徒が学んでよかったと思える魅力ある学校づくりを行っていくために、教育内容を再検討することが必要である。